

平成28年第1回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	平成28年1月12日(火) 午前9時30分					
開 会 場 所	さかえ小学校 1階 校長室					
開会の日時・宣告者	平成28年1月12日(火) 午前9時30分			山西 実		
閉会の日時・宣告者	平成28年1月12日(火) 午前11時45分			山西 実		
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山西 実	出席	教育委員	尾島 紗緒里	出席
	職務代理	赤川 昌行	出席	教育委員	中根 政美	出席
	教育委員	深作 昭美	出席	教育委員	前田 一郎	出席
				書記:大竹孝典・熊田貴子		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 次 長	大澤 一男	さかえ小学校・校長	藤崎 顕孝		
	総 務 課 長	木村 卓朗	学校教育課・主幹兼指導主事	山本 直人		
	学校教育課長	森 祥一	社会教育課・主事	油布 憲昭		
	社会教育課長	小川 伸朗				
	学校教育課副参事兼吉田幼稚園長	榎島 玲子				
	公民館長兼勤労青少年ホーム館長	脇谷 道夫				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 学校の運営状況等について</p> <p>日程第2 前回会議録承認</p> <p>日程第3 協議事項 1 さってアフタースクールの現状と課題について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>さかえ小学校校長 学校の運営状況等について、資料により説明する。 《質疑》 質疑なし。</p> <p>教育長 前回会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>学校教育課長 資料により説明する。 《質疑》</p> <p>職務代理 実施要綱など過去に示された資料には、さってアフタースクール事業の目的に「児童の学力向上を図る」と書かれているが、本日晒された資料にその文言が無いのはなぜか。</p> <p>学校教育課長 さってアフタースクール事業の趣旨は、学習意欲の向上と自主学習習慣の定着を目指すものだが、目的は、児童の学力向上を図るものであり、変更は無い。</p> <p>教育次長 児童の学力向上を図ることが趣旨に含まれているということでご協議いただきたい。</p> <p>深作委員 教材は、どのようにして用意しているのか。また、アフタースクールの中で宿題はできないのか。</p> <p>学校教育課長 教材は、学校で使っているドリルや、アフタースクール用に購入したドリル、また、コーディネーターや講師が作成したプリントを使っている。子供の能力に応じた教材の充実が求められている。 次に宿題の対応についてだが、宿題は家庭でやるべきと考える先生方もいることから、アフタースクールではそれ以</p>

外のものをやってほしいというご意見もある。

教育長

事務局では当初、アフタースクールの中で宿題も対応しても良いのでは、という考えでいた。しかし、地域性や保護者の考え方として、宿題まで学校で見えしまうと、保護者の児童や学校への関心が薄れてしまうのではないかという懸念が出てきたことから、しばらくの間、宿題は家庭でやってもらうこととなった。

尾島委員

対象児童は、4～6年生だが、低学年の保護者からの要望は無いか。

学校教育課長

今のところ無い。

中根委員

文言には無いが、経済的に恵まれない児童への、教育機会の支援という意味合いも含んでの事業のスタートだったのか。

学校教育課長

経済格差を大きな趣旨としては考えていなかった。事業を立ち上げるにあたり、東中学校区の3校を選んだ理由として、塾に通うにしても距離的に遠いという点も考慮してスタートしたものである。

前田委員

いつ頃、他校へ拡大するのか。

学校教育課長

東中学校区からスタートし、幸手中学校区、西中学校区という順で、3年間で全校に広めていく予定である。できるだけ早い段階で全校に広めていきたい。

教育次長

当初、平成27～29年度の3年間で、全校実施する予定でスタートした。平成28年度は2年目となるので、幸手中学校区か西中学校区のいずれかで実施するべく予算要求をした。実施に当たっては予算が大きく影響するほか、講師の募集状況も要因の一つである。講師の募集はこれから行うが、応募状況によっては予定を早めて全校実施することもできなくはない。もちろん予算の関係もあるので、実施日数を減らしたり、時期をずらすなどの検討は必要となるが、講師の応募状況によっては、全校実施を早めるこ

とは可能である。

教育長

この事業をスタートするに当たっては、優秀な講師の確保がひとつのネックであった。今年度は、力のある9名の講師を確保することができたが、今後、いっぺんに多数の講師を採用することになると、今年と同等の講師を確保できるかという懸念がある。

《協議》

職務代理

実施している学校では、保護者の送迎や習い事の関係で、3日のうち1日しか参加できない児童がいる。児童が多く参加できるように、家庭との情報共有が必要だと思う。

実施校の拡大については、講師の確保状況や予算の状況に応じて柔軟に考えてはどうか。実施校の成果を把握しながら色々な条件を考慮するなかで所期の目的の、学力の向上と学習の習慣化が図られなければならないと思う。その成果をあげるためには、実施校数や実施回数の設定など、慎重に行ってほしいと思う。

先程、宿題の話があったが、授業についていけない子供や一人では宿題をやるのが難しい子供には、アフタースクールで教えてあげても良いと思う。逆にわかっている子供には別の教材を用意して自習させるなど、子供の実情を捉えている学校の先生と講師との連携により、子供の能力に応じた指導が必要だと思う。

教育長

アフタースクールは考え方によっては学校と別物だが、趣旨は、学校の学習そのものをサポートするものなので、放課後児童クラブと同じ発想ではなく、一体となって子供達を見ていくといった意識を先生方にも持っていただくことが大事だと思う。

職務代理

今は小規模校で実施しているので、学力の低い児童は少なくサポートができやすいが、今後、大規模校で実施することになると、児童数も増えると考えられるので、十分に目が行き届かなくなるのではという懸念がある。

教育長

小規模校では、一人当たりの割合が高くなるため、学力の低い子供が少しでもいると全体の平均点が低くなってし

<p>日程第4 行政報告 1 教育長報告 2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>まう。 中根委員 教師を目指す学生にとってもアフタースクールの講師を経験することはとても良い機会である。 教育次長 来月の定例会までには予算がほぼ固まっているので、ご報告させていただく。 教育長 最終的には3月の市議会定例会で予算の承認をいただくこととなるが、内示を次回の定例会でお示しさせていただく。担当課では、今いただいたご意見をもとに開催日時の問題や講師の採用、運営の問題を検討し、予算の枠の中で効果のあがる方法を検討していきたい。 尾島委員 保護者が送迎できない児童が、下校中に事故にあった場合の保険加入が課題となっていたが、今後の対応について伺う。 学校教育課長 保険に加入できるよう平成28年度予算に要求している。 教育長 登下校を含めた学校生活の中で事故が起きた場合は、現在加入している日本スポーツ振興センターの保険で対応できるが、別組織になってしまうと保険の対象外となってしまうので、別途保険に加入できるよう予算要求しているものである。しかし、保険に加入しているから事故にあっても大丈夫というものではないと思うので、この点は一つの検討課題だと思っている。 教育長 幸手市教育大綱の策定について資料により説明する。 学校教育課長 1 平成27年度幸手市児童生徒の新体力テストの結果 2 平成28年度小・中学校児童生徒見込数について 3 1月中旬から2月中旬の行事予定 4 幸手さくらの学びセミナー について資料により説明する。</p>
---	---

学校教育課副参事兼吉田幼稚園長

- 1 12月の行事
- 2 1月の行事予定
について資料により説明する。

社会教育課長

- 1 平成28年幸手市成人式【1/10開催】（資料無）
- 2 人権作文発表会【12/13開催】（資料無）
- 3 1月・2月の行事日程
- 4 体育施設利用状況
について資料により説明する。

公民館長兼勤労青少年ホーム館長

- 1 1月の行事予定
- 2 12月の利用状況
について資料により説明する。

社会教育課長

- 1 図書館の報告事項
- 2 12月の利用状況
- 3 今後の事業予定
- 4 予約の多い図書(12月・上位5冊)
- 5 12月の購入図書リスト
について資料により説明する。

《質疑》

職務代理

12月25日（金）に開催された幸手さくらの学びセミナーには市内から50名参加があったとのことだが、小学校の教員がほとんどか。

学校教育課長

そのとおりである。

職務代理

小学校の教員が全員参加してもよい内容だった。中長期的に教員の力をつけるものなので、今後も続けていただきたい。

次に、平成27年度幸手市児童生徒の新体力テストの結果のうち、埼玉県施策指標と比較した結果について、昨年度は全ての項目で目標を達成していたが、今年度は中学校が達成できなかった。その理由は分かっているのか。

また、この調査結果を受けてどう検討し、具体的な方策をどのように実践していくのか伺う。

学校教育課長

中学校が今年度、目標を達成できなかったのは、1校あたりの占める割合が大きいためである。昨年度は3校のうち2校が目標値に達したため県の指標を上回ったが、今年度は1校だったため、目標を達成することができなかった。分析していないためあくまで想像だが、中学校では部活動をしている子供としていない子供の体力差が非常に大きいため、体育の授業の充実が課題だと思っている。

次に具体的な方策だが、幸手市は以前からボール投げが課題となっており、各校で方策を練って課題に取り組んでいるところである。この結果、市の平均としては伸びているが、県平均と比較するとまだ下回っている現状である。

12月に結果が出たので、今後、各校で課題と取り組み内容を検討し、体力向上推進委員会でまとめていく流れとなる。

職務代理

学校は、1学期に新体力テストを実施したあと自校の課題を把握し、その課題解決のための方策を立てて、2学期以降は来年度に向けた取り組みを実施しているのか。

学校教育課長

各校では、夏休みまでには新体力テスト結果の取りまとめができていますので、自校の課題を把握し、これに対し既に取り組んでいる。

職務代理

ボール投げ以外の各校の課題を把握しているのか。

学校教育課長

体力向上推進委員会で把握している。

職務代理

2月6日（土）に開催される『バスDE工場見学』の募集は、どのように行ったのか。

社会教育課長

広報紙に掲載したほか、学校にお願いして児童への周知を行った。定員を大きく上回る申込があることから、抽選を行う予定である。

職務代理

学校を通じて依頼するには、普段から先生方との係わり合いが大事だと思う。

<p>日程第5 その他 1 次回定例会の 日程について</p> <p>2 卒・入学(園)式 について</p> <p>3 次回定例会の 協議事項について</p>	<p>中根委員 新体力テストの結果は、体力向上の取組の成果が出てきていると感じた。次に、また、成人式は実行委員会形式で主体的に取り組まれ、よい式であった。</p> <p>深作委員 新体力テストの結果は、子供達にも公表されているのか。</p> <p>学校教育課長 県平均との比較が入った個表が、配られている。</p> <p>深作委員 テストを実施する前に目標値を示すのも手ではないか。</p> <p>学校教育課長 新体力テストの結果は、子供の意欲が大きく影響していると思う。小学校は、先生が子供に声かけをしているが、中学校はなかなか出来ないのも、これが結果に表れているのではないかと思っている。</p> <p>教育長 各委員の意見を調整した結果、次のとおり決定する。 第2回教育委員会定例会 日時 平成28年2月9日(火) 午前9時30分～ 場所 八代小学校 会議室</p> <p>第1回教育委員会臨時会 日時 平成28年2月25日(木) 午後4時30分～ 場所 第二庁舎 教育長室</p> <p>学校教育課長 幼稚園及び小・中学校の卒・入学(園)式について資料により説明する。</p> <p>教育長 文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づき、幸手市の今後のあり方について協議することとする。</p>
--	---

閉 会

午前 11 時 45 分

教育長

閉会を宣す。

他特に重要 と認める事項	なし
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成28年 2月 9日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署 名 委 員 赤 川 昌 行</p>